

研究実施のお知らせ

2024年10月18日 ver.2

研究課題名

青少年のインターネット依存の要因と影響に関する探索的研究

研究の対象となる方

令和6年7月に、松江市「子どもとメディア」に関する協議会および松江市教育委員会、松江市PTA連合会が、松江市立小学校5年生6年生、松江市立中学校1年生から3年生（義務教育学校5年生から9年生）、および、松江市立小中学校（小学1年生～中学3年生）に在籍する児童・生徒の保護者全員を対象に行った「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」に回答された方。

研究の目的・意義

近年のインターネットの急速な普及により、インターネットに没頭することで、対人関係や日常生活への弊害が生じる「インターネット依存」が問題視されています。

本研究は、小・中学生のインターネット依存が生じる要因と、インターネット依存による影響を明らかにします。本研究により、小・中学生のインターネット依存を予防するための方策を検討するとともに、健全なインターネット利用を推進する上での啓発や保健指導に役立てることができると考えています。

研究の方法

利用する情報は、令和6年7月に、松江市「子どもとメディア」に関する協議会および松江市教育委員会、松江市PTA連合会が、松江市立小学校5年生6年生、松江市立中学校1年生から3年生（義務教育学校5年生から9年生）、および、松江市立小中学校（小学1年生～中学3年生）に在籍する児童・生徒の保護者全員を対象に行った「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」です。

児童・生徒用のアンケート項目である、健康・生活に関する内容とインターネット使用に関する内容、保護者用のアンケート項目である、子どもの生活に関する内容、子どものインターネット使用に関する内容、保護者による子どものメディアコントロールに関する内容、親子の関係・関わりに関する内容、保護者のインターネット使用に関する内容等の情報を基に、分析を行います。

「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」は匿名式のため、個人情報 は含まれていません。松江市教育委員会が、「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」のデータにパスワードをつけ、上書きできないCD-Rに保存したもの

を研究責任者が対面で受け取ります。

研究の期間

2024年11月16日～2030年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部地域・老年看護学講座 榊原 文

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関]

松江市教育委員会 教育長 藤原亮彦

情報の利用停止

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：榊原 文

島根大学医学部地域・老年看護学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2337 FAX 0853-20-2337